

平成23年度一般会計補正予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

交通政策課（内線：7099）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便 利用促進事業	71,310	10,914	82,224				10,914	
トータルコスト	88,884	10,914	99,798	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.2人	0.0人	2.2人	国内航空路線の利用促進活動の実施等				
工程表の政策目標(指標)	東京便の増便等国内航空便の利便性向上(鳥取→東京便5便、米子→東京便6便)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

羽田空港の平成25年度の発着枠の新規割当及び既存枠の見直しを好機とした鳥取・米子→東京便の増便の実現を図るためには、航空会社が増便の判断材料とする平成23年度の搭乗実績が極めて重要であることから、今年度取り組む首都圏向けの鳥取県観光・路線のPR強化など利用促進に加えて、特に搭乗率の低い東京発1便を利用した首都圏からの誘客を中心に利用促進の取組を更に強化する。

<H22平均搭乗率>

鳥取→東京便 61.6%(61.3%) 米子→東京便 66.0%(63.7%) ※()はH21平均搭乗率

<H22朝1便搭乗率>

東京→鳥取便 35.8% 鳥取→東京便 47.7%

東京→米子便 50.4% 米子→東京便 51.0%

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	補正額	内容
インバウンド対策	10,410	
1便を活用した旅行 商品造成支援	4,800	○団体観光客対策 →東京発1便利用者に対し、羽田空港近隣の駐車場を無料利用できる旅行商品を造成し、誘客を図る。 ○個人観光客・ビジネス客対策 →東京発1便を利用して来県し、鳥取・米子発1便を利用して帰京する個人観光客・ビジネス客に対し、県内宿泊費を一定額支援する。 ○実施主体：鳥取空港の利用を促進する懇話会 米子空港利用促進懇話会(現予算内で対応) ○費用負担：県1/2・市町村1/2
WebによるPR	5,610	○個人旅行者の航空券購入利用が高い旅行関係のネットを活用し、鳥取県の観光・路線と旅行商品の魅力を継続的にPRするとともに、ネットを活用して鳥取県への航空便を利用した旅行者に対し県特産品プレゼントを行う(県10/10)。
アウトバウンド対策	504	
ふ・ふ・ふキャン ペーン(2人からの空 の旅キャンペーン)	504	○鳥取・米子発1便利用者に対し、航空料金を一定額支援する。 ○実施主体：鳥取空港の利用を促進する懇話会 米子空港利用促進懇話会(現予算内で対応) ○費用負担：県1/2・市町村1/2
計	10,914	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・東京便の増便、運賃低廉化、ダイヤ改善等の利便性向上に向けて、継続的に国、航空会社に対し要望活動を行っている。
- ・羽田空港の発着枠拡大を見据えた東京便の増便等の働きかけを強化するため、搭乗率向上対策として航空会社とのタイアップPRキャンペーンのほか、首都圏向けの鳥取県観光・路線のPR強化等に取り組む。